

アネムホールディングスの新たなICTソリューション



アネムホールディングスの北川雅専務

株式会社アネムホールディングスは、豊富な塾・学校向けICTソリューションを提供している。今回はその中でも特に導入する塾が急増している2つの新しいソリューション、月6000円でも十分な利益を確保できるオンライン英会話「Speak Up(スピークアップ)！」と、過去問や模試の成績を簡単にしかも効果的に管理できる過去問システムについて、株式会社アネムホールディングス専務取締役の北川雅洋氏に語っていただいた。

オンライン英会話「Speak Up!」

「Speak Up!」はどういった内容なのでしょう?

週一回、生徒に英会話をさせたいというところから開発

を始めました。オリジナルのオンライン英会話専用テキスト準拠(小学校英会話テキスト準拠、英検2級〜5級(準1級開発中))対策テキスト準拠、塾や学校で使用しているテキスト準拠など、テキストが豊富なのが特徴です。

費用はどれぐらいなのですか?

わずかな設定代はかかりませんが、加盟金はありませんので導入しやすくなっています。また使用料は、月謝6000円で個人塾が活用されても4割程度の利益が出るようにビジネスモデルを作っています。この料金設定を考えたの

は、オンライン英会話単独の活用はもちろん、国語と算数の本科講座を9800円ぐらいでやっているとして、併用でプラス月謝5000円ぐらいでオンライン英会話が設定できる、あるいは、7800円の英会話コースを実施している場合も、それにプラス月謝5000円でスピーキング練習を強化できる、また英検対策として10回講座料1万2000円の短期講座が作れる、そういう設定で教室全員が受講できる英会話コンテンツを作ったからです。

講師の確保と研修はどうされているのですか?

フィリピンのセブ島に講師センターを設置しています。その日の指導内容は、講師が英語で学習記録を授業終了5分

程度で教室にメール報告するとともに履歴として残すので、前回の指導内容を引き継ぎます。また、テキストを事前にセブのセンターに送り講師研修を徹底しています。

レッスンはどのような流れになっているのですか?

まず、テキストに沿ったCTDを使ってリスニングとスピーキング練習を行います。テキストによってはスピーキングをコンピュータが診断し点数化発音の弱点を指導します。その後、セブの講師と英会話学習をおこないます。挨拶練習、テキストを使つてのアウトプット練習、いまままでに学習したフレーズを使った自由会話など実践的な英会話を学びます。最後にテキストに応じて、単語の練習、英検文法学習などライティングを行つて終了です。

テキストはどのようなものを使っているのですか?

テキストは、①小学校の新指導要領テキストに準拠したオリジナル、②英検5級から2級までの専用テキスト(オプションで5級から3級はICT学習コンテンツもありま)、③好學出版のウィニングを塾の本科授業で学習した後、そこで習ったものを使ってオンライン英会話で学ぶこともできます。現在は、ウィニングだけとの連動ですが、塾や学校で使用しているテキストで同様のスキームを作ることができます。つまり、普段の授業で「読む」「書く」を学習し、オンライン英会話で「聞く」「話す」

を学ぶことができるのです。

このように、スピークアップが何より特徴的なのは、テキストを選ばず、それぞれの塾で使っているテキストと連動したオンライン英会話授業が可能などです。別の視点で考えると、教材会社様のテキストや英語ICTコンテンツ会社様の教材と、スピークアップを連動させることで、今までにない魅力ある学習コンテンツを創り上げることができます。

なぜテキストを選ばないのでしょうか?

セブ島の講師たちとは、毎回入念にミーティングや研修をしており、即時カリキュラム

を変更することができるからです。また、セブの講師のホスピタリティは素晴らしく、授業を体験していただいた塾・学校、生徒さんから、とても高い評価をいただいています。スピークアップという名称ではなく、各塾・各学校のオリジナルの名称を使って導入することも可能です。

過去問の授業を今まで以上に充実させる

もうひとつ過去問管理のコンテンツがあります。これはどういった内容なのでしょう?

生徒が過去問を

解いたら、答え合わせをさせ、一問一問その内容をタブレットに入力してもらえば合計点はもちろん、小問ごとに正答率が出ます。例えば、ある塾では「小問1の正答率

は何%」といった具合に細かくデータを出して分析しています。また、都道府県が正答率を出していれば、比較することもできます。なにより生徒ごとに過去問の成績を記録できるとともに、年ごとのデータベースを使って、自動で成績を比較し合否予測もでき、掲示物も作成できるというのも魅力的です。

過去問の一問ごとの学習結果を記録することで生徒管理を効率化できる

さらに、オプションで、間違えた問題をタッチすると問題が出るようにシステム化できます。現在、15県の過去問に、このシステムをつけたものを提供しています。

なぜこの過去問システムを開発したのでしょうか?

集団塾は、カリキュラムの中に過去問を解く授業時間がありますが、多くの集団塾が過去問の生徒の点数はもちろんのこと、一問一問の学習結果に対応できていません。また個別

指導塾では、5年分の過去問の時間を設けると、それだけでコマ数が取られてしまい、3年分の過去問さえ消化できない上に進捗管理もおろそかになっています。そこで開発したのが、前述のタブレットを使った過去問管理システムです。この1年、実験的に運用したのですが、おかげさまで評判は上々です。今後は、さらに映像講義をどう組み合わせいくかを考えており、映像講座を提供してもらえる会社があれば、動画解説も載せられるプラットフォームとしての使い方も可能になっています。

きつと満足いただける仕組みと使用料金設定になっていますので、お問い合わせいただければ幸いです。

2020年5月15日より
小・中学生の英語4技能に即対応できる!
スピークアップ
Speak Up!
オンライン英会話はやっぱり
1対1
煩雑なクラス分けは不要!
授業は専用教材で一発予約!
用途に応じた
レッスンを実現
テキストに
準拠した
オリジナル
テキスト
1 英検対策
専用テキスト
2 英検対策
専用テキスト
3 英検対策
専用テキスト
ランニングコストが安い!
月6,000円でも十分な利益!
株式会社 e-sia (株) 0120-555-084
http://www.e-sia.jp



週1回の受講でも負担にならない価格設定にこだわった「Speak Up!」